

# 謹んで新年のご挨拶を申し上げます



理事長 小杉山 敬



新年 明けましておめでとうございます。

昨年1年間、職員の皆さん・関係者の皆さんのおかげで、新型コロナウイルスからお年寄りの生活、職員の生活を守り抜くことができました。本当にありがとうございます。

感染の恐怖はまだ続いており油断できませんが、あの困難から私たちは多くの事を学びました。そして、私たちの仕事が無くてはならない、かけがえのないものだと思われ世の中に伝わる機会にもなりました。

この教訓を活かし、本年も皆さんと一緒に福祉の助けを必要としている人たちに手を差し伸べることができるよう、より一層努力してまいります。と思っております。本年もよろしくお願いいたします。

芳川の里施設長

鈴木 澄男



新年 明けましておめでとうございます。

2年以上に渡る新型コロナウイルスの影響で、ホームでの生活もすっかり変わってしまった感がありますが、芳川の里の皆様がこうして年明けを迎えることができたことを本当にありがた

く感じております。

気軽に人と会うことが難しい社会になったこともあり、介護の世界でも研修や面会、見学などでパソコンを使うことが格段に増えています。

触れ合う機会が少なくなった分、そうした機器を有効に活用して、ご家族や地域の皆様との繋がりを強めていくよう努めて参ります。

また、今年には介護現場での通信環境整備や、介護用機器の導入も予定しております。

入居者様に負担なく、職員は無理なく介護の仕事が続ける環境を少しずつでも整えていきたくと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

いしはらの里施設長

渡部 容史



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様方には、様々なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、これまでの価値観や概念を、まったく新しい価値観、概念へ変えなければいけない変革の年となりました。

今年も急激な情勢変化に取り残されないうに、この機会を、現状から成長していく最適

の機会ととらえ、組織の発展を図っていきたくと考えています。

皆様のお力、ご協力などをいただきながら、地域に根ざし、共生できる施設として、信頼にお応えできるよう、今後も努力してまいりますので、本年もこれまで同様の支援を心からお願い申し上げます。

宅介護支援事業所

管理者 小出裕美



コロナワクチンの接種も進み、ウィズコロナ時代に向けて世の中は少しずつ元の生活を取り戻してきました。しかし、世界の感染状況は決して楽観視できるものではなく、重症化リスクの高い高齢者の暮らしを担う介護施設としてはまだまだ安心できません。

制限された生活が長く続き、ストレスが溜まり心身が思った以上に衰弱してしまう人も少なくありません。健康維持のために、生活リズムを整え、感染対策が整った環境で運動や交流の機会に参加することはとても大事です。

芳川の里では、デイサービス・ショートステイ・居宅介護支援事業所・包括支援センターの在宅サービスにて、地域の高齢者の健康的な暮らしを応援しております。お気軽にご相談下さい。